

「まち・ひと・しごと創生基本方針 2019」の構成案

I 第 1 期（2015 年度～2019 年度）における地方創生の現状等

1. 第 1 期の地方創生の取組

2. 地方創生をめぐる現状認識

- (1) 人口減少と少子高齢化の進行
- (2) 東京一極集中の継続
- (3) 地域経済の現状

3. 地方創生に関連する将来の見通し

II 第 2 期（2020 年度～2024 年度）に向けての基本的な考え方

1. 全体の枠組

◆長期ビジョンの下に、総合戦略を実施する現行の枠組みを維持。

2. 検証を踏まえた検討の方向性

◆第 1 期の検証を踏まえ、次について基本的枠組みを維持しつつ必要な見直しを実施。

- (1) 4 つの基本目標
- (2) 「まち」「ひと」「しごと」の好循環
- (3) 5 つの政策原則
- (4) 情報支援・人材支援・財政支援（「地方創生版・三本の矢」）

3. 第 2 期における新たな視点

◆第 2 期（5 年間）において、次の新たな視点で施策を推進。

- (1) 民間と協働する
- (2) 人材を育て活かす
- (3) 新しい時代の流れを力にする
- (4) 地方へのひと・資金の流れを強化する
- (5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる
- (6) 「地域経営」の視点で取り組む

III 各分野の当面の主要な取組

◆主に 2020 年度に取り組む次の施策を推進。

1. 地方にしごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす
2. 地方への新しいひとの流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
5. 連携施策等

IV 国と地方の総合戦略の策定について

◆国と地方の総合戦略等の策定方針を明確化。

V 各分野の施策の推進（各論）

VI 地方創生に向けた多様な支援（地方創生版・三本の矢）（各論）